

地産地消によるCO₂削減活動への貢献

ブラザー工業株式会社

ブラザー工業株式会社

所在地： 愛知県名古屋市長瀬区苗代町15番1号

代表者： 代表取締役社長 小池利和

資本金： 19,209百万円

従業員数： 連結 34,988名 / 単独 3,946名 (2015年3月31日現在)

URL： <http://www.brother.co.jp/>

1 事業の概要

1908年にミシンの修理業から始まったブラザーグループは、一世紀以上にわたり、時代の変化を捉え独自の製品やサービスを提供してきました。今日では、プリンターや複合機などの情報通信機器事業を中心に、40以上の国と地域に拠点を置き、グローバルに事業活動を展開しています。

2 環境への取り組み

ブラザーグループは、持続的発展が可能な社会の構築に向け、「Brother Earth」のスローガンのもと、企業活動のあらゆる面で地球環境への配慮に前向きで継続的な取り組みを行っています。

CO₂削減活動では、2020年度中期目標として「国内8事業所で1990年度比30%削減、海外の生産拠点2006年度比20%削減」を掲げています。国内の拠点では、照明設備のLED化やエアコンの省エネモードへの更新、二重窓による結露防止、国内工場では屋上や壁面の遮熱塗装の取り組みを進めています。2015年度は全ての国内事業所で目標値をクリアしました。

3 J-クレジット活用手法

ブラザー工業では、2008年から毎年岐阜県にある「ブラザーの森 郡上」への植樹ツアーを開催しています。恩恵を受けている近隣県の水源や緑地への還元と地域との結びつきを濃厚なものにするため、「ブラザーの森 郡上」から創出されたJ-VERクレジットや中部産CO₂クレジットの購入を決めました。

4 取組の感想

制度説明会や展示会に出向き情報収集することで、制度に関する理解が進みました。説明会では、概要説明の後に質疑応答や個別相談会があり、個別の状況に応じた説明を受けることができました。

社内では、関連部門やJ-クレジットの購入にあたって関係する財務部門に事前に説明を行い、理解を求めることで、スムーズに手続きを進めることができました。

5 制度活用による効果

今後もカーボン・オフセットの取り組みを通して、弊社とつながりのある中部エリアにある地域や団体との結びつきを深め、地産地消によるCO₂削減活動に貢献していきたいと考えています。



【ブラザーの森 郡上】

J-クレジット活用量 84tCO₂/年 (合計オフセット量100tCO₂)